

取材で分かった意外と知らない「ツウな情報」を、お伝えします。

コレ知ってたら

# 桑名城通

kuwana tsu!

## 桑名城と九華公園 こぼれ話

### 伊勢神宮と九華公園の共通点

伊勢神宮の内宮・外宮の外苑と九華公園は同じ設計者です。その設計者は、江戸築地の桑名藩下屋敷に生まれた小沢圭次郎です。医学や蘭学を学びましたが、大名・寺院庭園が荒廃されるのを残念に思い後世に残すため造園研究者となり、設計者としても成功するようになりました。



イラスト 市民編集員 櫻井 暁子

### 九華公園に大砲？

九華公園を散策していると大砲が置いてあるのを見かけます。なぜこんなところにと考えた人もいると思いますが、理由は諸説あります。

明治時代にはお屋を知らせるため空砲が鳴らされたと言われています。この大砲が置かれていたところには辰巳櫓があり、また、江戸時代中ごろ、天守が焼失してからは、単独の三層櫓であった辰巳櫓は桑名城の天守的存在でした。このため、戊辰戦争で桑名城が新政府軍に引き渡されたとき降伏の印として焼かれました。



## 市長がふれる！

# 本物カ

No.27

桑名城と九華公園

今月のテーマは「桑名城と九華公園」です。

現在、市民の憩いの場となっている九華公園はもともと桑名城の跡。初代桑名藩主・本多忠勝がこの地に築城しました。

さて最近では、お城の復元が全国的にブームとなっ

ているようです。名古屋市では名古屋城の木造復元化に向け大変盛り上がっていますね。市民の皆さんからも「桑名城は復元しないの？」と聞かれることもあり、城を復元するにはお城の「図面」が必要なのですが、残念ながら桑名城の図面は現時点で見つかっていません。図面が見つかれば桑名城復元への



ポスターを掲示して資料を集めています。

道が開かれるかも、ということとで、博物館の職員が全国各地の大学図書館や古書店を血眼になって探しています。もし桑名城の図面についての情報をお持ちであれば、ぜひ教えていただければと思います。

さて、九華公園は桜の名所。桜のシーズンには多くの人がお花見に訪れます。桜の木の下にブルーシートを敷いてみんなで宴会、といった定番の楽しみ方もできますが、九華公園ならではの桜の楽しみ方といえば「桑名水郷舟めぐり」。舟の上から優雅なお花見ができ、水面に向かって枝を伸ばすすだれ桜や、散った桜でお堀がピンク色に染まる素敵な光景をみることもできます。

また、最近では夜の舟めぐりも開催されるようになり、舟の上からライトアップされた夜桜を楽しむことができ、こちらもとても幻想的です。



満開の桜を満喫する参加者



今年、ちょうちんや灯籠を並べ、あかりで桑名の魅力を感じるイベント「灯街道・桑名宿」も併せて開催されますので、この時期、風流な桑名の春の夜を楽しんでいただけるのではないのでしょうか。今年の桑名水郷舟めぐりは4月1日(日)から15日(日)まで開催です。

今年全国的には明治維新150年で盛り上がっているようですが、桑名にとっては戊辰戦争150年の年でもあります。ぜひ桑名の歴史に触れていただくために、桑名城跡である九華公園にお立ち寄りください。